

# こちらどうぞ (おともいっしょに)

## 「u & i えほんシリーズ」



えぬえいちけー いー ゆーあんどうあい せいさくはん へん にしだ まさふみ げんさく  
NHK Eテレ「u & i」制作班/編 西田 征史/原作  
すずき ゆい え しゅつぽん  
鈴木 友唯/絵 ほるぷ出版

こどもたちのモヤモヤやこまりごとについて、いっしょに考える絵本シリーズ。人形のシッチャカとメッチャカが、「ココロのでんわ」などを使って、どうしたらいいのか、考えるためのヒントをくれます。

## 「障害があってもいっしょだよ！」 1~6



マリ・シュー/文 イザベル・ムニョス/絵 上田 勢子/訳 大月書店

ていがくねん よ しょう りかい えほん しょう  
低学年からやさしく読める障がい理解の絵本シリーズ。障がいをもつ子どもたちが主人公になって、授業や学校生活での困りごと、どんなサポートがほしいかなど、わかりやすく説明しています。

## 「こんなおともだちってすごいね！」 1~4



トレーシー・パッキアム・アロウェイ/ぶん アナ・サンフェリッポ/え  
たなか やすお かんじゅう とみほら え やく ごうどうしゅつぽん  
田中 康雄/監修 富原 まさ江/訳 合同出版

ディスレクシア、A D H D、自閉スペクトラム症、不安症の子どもたち。困りごともあるけれど、得意なこともあります。子どもたちの特性と、かかわり方をやさしいストーリーで紹介しています。

## 「NHKふつうってなんだろう？えほん」シリーズ



えぬえいちけー せいさくはん へん しゅつぽん  
NHK「ふつうってなんだろう？」制作班/編 ほるぷ出版

じぶん こと  
自分では「ふつう」のことなのに、困ったな…。そんなエピソードを本人が語ります。あなたの「ふつう」と違いはあるでしょうか。  
えぬえいちけー しよせきか  
NHKのショートアニメーションを書籍化。

イベント情報発信中♪



@obihirorlibrary

キミヘノチカラシリーズ

# 自分を知る。 あなたを知る。



す きら とくい にごて  
好きなこと、嫌いなこと、得意なこと、苦手なこと…  
みんなそれぞれ違います。自分と違うからこそ不思議に思ったり、モヤモヤしたり、悩んだりしたことはありませんか？  
じぶん あいて ちが りかい かんが  
自分と相手の違いを、理解したり考えたりするために  
ほん しょうかい  
おすすめの本を紹介しています。

帯広市図書館  
「キミヘノチカラシリーズ」  
ブックリストにアクセス♪



帯広市図書館  
2024年3月 発行

# えほん



## 「じぶんのきもち みんなのきもち」

サラ・オレアリー／さく チン・レン／え おおつか のりこ／やく  
あかね書房 (Eレン)

みんなそれぞれの「きいてほしい」があつまった絵本。自分とともだちのきもちを大切にしたいと思える一冊です。



## 「まただくん」

たけだ みほ さく え 武田 美穂／作・絵 ポプラ社 (Eタケダ)

まただくんは、いじわるばかりする。だから学校に行きたくない。わたしの大事なえんぴつを、まただくんが折った。次の日、まただくんは…。



## 「みんなとおなじくできないよ」

ゆあさ しょうた さく いしい きよたか え 湯浅 正太／作 石井 聖岳／絵 日本図書センター (37.8ユ)

ほかの子とちょっとちがう弟。好きだけど、なんだか恥づかしい。そう思ってしまうボクはダメな子なのかな？ 障がいのある弟をもつ、お兄ちゃんの気持ちによりそうお話。



## 「ひみつのビクビク」

フランチェスカ・サンナ／作 ながわ ちひろ／訳 廣済堂あかつき (Eサンナ)

ちいさなビクビクはわたしだけのひみつのともだち。だけどこのくに引っ越してきたら、ビクビクが大きくなってわたしのじやまをするようになって…。



## 「ころべばいいのに」

ヨシタケ シンスケ／作 ブロンズ新社 (Eヨシタ)

どうにもこうにも嫌いな人がいる。そんな自分の気持ちとどう向き合えばいいのかを考える絵本。ちよっぴりイライラ、モヤモヤしたときに読んでみてください。

# よみもの



## 「ともだちのときちゃん」

いわせ じょうこ さく うえだ まこと え 岩瀬 成子／作 植田 真／絵 フレーベル館 (91.3イワセ)

なんでもしているおしゃべりのさつき。ともだちのときちゃんとはなにをするにもゆっくりで、おしゃべりもとくいじゃない。ときちゃんってなにをかながえているんだろう…。



## 「二年二組のたからばこ」

やまもと えつこ さく さとう まきこ え 山本 悦子／作 佐藤 真紀子／絵 童心社 (91.3ヤマモ)

二年二組には、たからくんのおとしものを入れる「たからばこ」がある。そんな、おとしもの多いたからくんと、あるときわたしはいつしよに日直をすることになったのです。



## 「4年2組がやってきた」

のむら かずあき さく え 野村 一秋／作 ささき みお／絵 くもん出版 (91.3ノムラ)

5年生のマーくんは、脳性まひで話すこと、歩くこと、手を動かすことができません。あるときからマーくんひとりだけの「にじ組」に週に一度、4年2組がやってきて交流することに…。



## 「みんなふつうで、みんなへん。」

ますの こういち さく うちだ え 柘野 浩一／作 内田 かずひろ／絵 あかね書房 (91.3マスノ)

みんな、毎日何を考えているんだろう。ふつうに見えるけど、実はちょっとした勘違いもしている。小学3年生の日常をユーモアたっぷりにお届けする。



## 「あっちもこっちもこの世はもれなく」

いとう みく／作 ころりよ／絵 P H P 研究所 (91.3イトウ)

公太は「努力せずに背が高い希来里」がうらやましい。ぼくはこんなに努力しているのに。不公平じゃないか！一方、希来里にもうらやましいと思うことがあって…。